

## ◆ 大学院入学試験要項

### ◆ 実施区分

	9月試験			2月試験			
	一般	学内推薦	社会人特別	一般		社会人特別	
				飛び入学	早期卒業		
修士	○	○	○	○	○	○	○
博士後期	—	—	—	○	—	—	—

### ◆ 募集人員

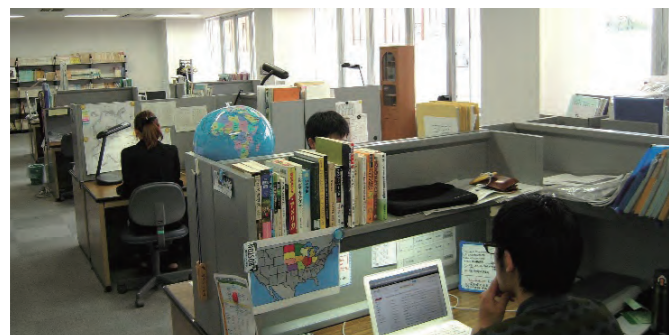
修士課程			博士後期課程	
9月試験	2月試験	計	2月試験	
○	○	5名	2名	

### ◆ 試験日程

	出願期間	試験日		合否発表
		1日目	2日目	
9月試験	8月17日～ 8月24日	9月24日	9月25日	10月3日
2月試験	1月18日～ 1月25日	2月18日	2月19日	2月25日



深沢キャンパス 大学院研究棟



地理学専攻 院生研究室 (大学院研究棟 3階)



### ◆ 試験科目

#### 修士課程

試験日	1日目		2日目
	1時限 10:00～11:30	2時限 12:30～13:40	10:00～
9月試験	専門試験科目 地理学	外国語試験科目 英語	面接試験
2月試験	外国語試験科目 英語		面接試験 (研究発表と質疑応答)

専攻指定の出願書類 「発表要旨」: 図表を含め A4 要旨 2 ページ以内にまとめたもの (パソコン等を使用して, 1 ページ (2月試験のみ) 1,000～1,500 字程度) 1部

注: 英語の試験は次の文献の内容に基づき, それに関する出題をします。

「Discovering Japan - A New Regional Geography -」(帝国書院)

#### 博士後期課程

試験日	1日目	
試験時間	1時限 10:00～11:30	2時限 13:30～
試験科目	外国語試験科目 英語	面接試験 (研究発表と質疑応答) + 英語以外の外国語の口述試験
専攻指定の出願書類	「発表要旨」: 図表を含め A4 要旨 3 ページ以内にまとめたもの (パソコン等を使用して, 1 ページ 1,000～1,500 字程度) 1部	

#### 社会人特別入試

試験日	2日目
試験時間	10:00～
試験科目	卒業論文またはそれに準ずる最近の成果の発表と質疑応答
専攻指定の出願書類	「発表要旨」: 図表を含め A4 要旨 2 ページ以内にまとめたもの (パソコン等を使用して, 1 ページ 1,000～1,500 字程度) 1部

注: 発表制限時間: 15～20分 (パソコン使用可)



修士論文発表会 (毎年 1月に開催)



■ 駒澤大学公式ホームページ

<https://www.komazawa-u.ac.jp/>

■ 駒澤大学 地理学教室

<https://www.komazawa-u.ac.jp/gakubu/bun/geography/>

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1 (入学センター)

TEL.03-3418-9048 FAX.03-3418-9050

駒澤大学大学院  
地理学専攻へようこそ  
～受験生の皆様へ～

インドで調査補助をする大学院生 (左)  
(2016年2月インド ビハール州)

駒澤大学大学院 人文科学研究科 地理学専攻

## 概要と特色

地理学専攻は、1966（昭和41）年4月に、修士課程と博士課程が設置され、今年で50年を迎えます。教員スタッフは、現在、修士課程が専任12名、非常勤講師2名、博士後期課程が専任11名で、教員の専門分野は自然地理学・人文地理学・地誌学など地理学の幅広い領域にまたがっています。大学院生は、専任教員の指導のもとに修士論文・博士論文の作成に取り組みます。この間、修士論文構想発表会、修士論文中間発表会、修士論文発表会などを行い、教員スタッフ全員で大学院生の研究をサポートする体制をとっています。

大学院生は「地理学研究会」を組織して、地理学専攻と共催で研究発表会を開き、『地理学研究』を毎年発行しています。全国規模の学会でも研究発表を行い、研究活動は活発です。また、大学院生の多くは、学部の地理学専門科目の授業（実習や野外調査など）にティーチングアシスタントとして参加しており、教育指導の能力を高める良い機会にもなっています。地理学専攻の大学院生とOBは、「紫竹学会」という組織を作っています。大学院修了後は、教員のほか、公務員や民間企業にも就職しています。

## 人材養成目的

### ◆ 修士課程

地理学専攻は、学部等の教育を基礎として高度な専門的教育を行い、大学・研究機関の研究者、豊富な専門知識を必要とする教員・専門職従事者を養成することを目的とします。

### ◆ 博士後期課程

地理学専攻は、大学院修士課程修了者、あるいはそれと同等の能力があると認められる者に対して研究指導を行い、地理学のより高度な専門知識、調査・研究能力を身につけた研究者・専門職従事者を養成することを目的とします。

## 入学者受入方針

### ◆ 修士課程

地域に関わる諸分野に関心を持ち、地域の本質やメカニズム、地域に内在する諸問題を究明するために、みずから総合的かつ専門的学術研究を積極的に行くと同時に、問題意識を持って社会貢献できる、教員を含む専門職や研究職を目指す情熱を持った人を望みます。

### ◆ 博士後期課程

地域文化や地域環境に関する専門分野の学術的研究を地球的視野に立って、みずから積極的に行い、高度な分析力や問題処理能力を身につけ、常に社会に対する問題意識を持って発言し、社会貢献を目指すとともに、高度な専門職または研究者を目指す人を望みます。

## 授業科目

### ◆ 修士課程

<合計30単位以上+修士論文>

【講義】	単位	単位	
地理学特講Ⅰ～Ⅱ	4	地域文化研究特講Ⅰ～Ⅱ	4
自然地理学特講Ⅰ～Ⅳ	4	地域環境研究特講Ⅰ～Ⅱ	4
人文地理学特講Ⅰ～Ⅴ	4	地域調査特講	2
地誌学特講Ⅰ～Ⅲ	4	地域評価特講	2
地図学特講Ⅰ～Ⅱ	4	フィールドワーク	2

【演習】	単位	単位	
地理学特講Ⅰ～Ⅱ	4	地図学特講Ⅰ～Ⅱ	4
自然地理学特講Ⅰ～Ⅳ	4	地域文化研究特講Ⅰ～Ⅱ	4
人文地理学特講Ⅰ～Ⅴ	4	地域環境研究特講Ⅰ～Ⅱ	4
地誌学特講Ⅰ～Ⅲ	4		

### ◆ 博士後期課程

<指導教員の講義12単位以上+博士論文>

【講義および研究指導】	単位
地理学特殊研究および研究指導	4
自然地理学特殊研究および研究指導Ⅰ～Ⅲ	4
人文地理学特殊研究および研究指導Ⅰ～Ⅲ	4
地誌学特殊研究および研究指導Ⅰ～Ⅲ	4
地図学特殊研究および研究指導	4

## 単位互換協定校

法政大学／明治大学／専修大学／国士舘大学／日本大学

## 担当教員（50音順）

 <b>江口卓</b> 教授 気候学 ヒマラヤ研究	 <b>小田匡保</b> 教授 宗教地理学 歴史地理学
 <b>櫻井明久</b> 教授 農村地理学 ヨーロッパ研究	 <b>佐藤哲夫</b> 教授 地域研究 (タイ・インド)
 <b>鈴木秀和</b> 准教授 自然地理学 水文学、温泉学	 <b>須山聡</b> 教授 離島研究 景観研究
 <b>高橋健太郎</b> 教授 中国地理 農山村研究	 <b>田中靖</b> 教授 地理情報学 地形計測
 <b>土谷敏治</b> 教授 交通地理学 公共交通研究	 <b>橋詰直道</b> 教授 都市地理学 郊外住宅地研究
 <b>平井幸弘</b> 教授 地形学 海面上昇影響評価	

## 最近の修士論文題目

- 諏訪湖における御神渡り発生頻度の減少におよぼす都市気候の影響
- 南アルプス光岳におけるハイマツの分布と生育環境
- 札幌市におけるヒートアイランドとその形成要因
- トロントにおけるポルトガル系社会空間の変容
- タイ北部ファーン盆地周辺地域における降水特性
- 回族居住地域における生活様式 —中国浙江省嘉興市を事例に—
- 近年の東京大都市圏における郊外核と後背地域の関係
- 新潟県村上市岩船地区の祭礼における地域社会の関係
- 神社祭祀と地域社会 —三重県松坂市飯南・飯高地域を事例に—
- 民俗行事の保存と活用 —福島県三島町の虫送りと鳥追いを例に—

## 資格取得

### ◆ 中学校・高等学校教諭専修免許

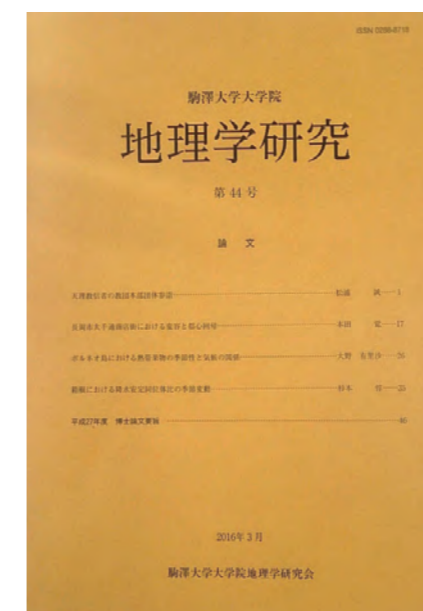
中学校教諭専修免許状	高等学校教諭専修免許状
社会	地理歴史

### ◆ 「専門地域調査士」資格（公社）日本地理学会

### ◆ 「GIS専門学術士」資格（公社）日本地理学会



地理学談話会 院生と教員の合同研究会



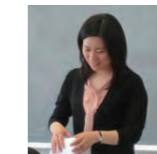
院生の研究成果をまとめて毎年出版している論文集

## 大学院での専門を活かして活躍する修了生



### 後藤 泰彦さん

2006年大学院地理学専攻修士課程修了  
千葉県立磯辺高等学校教諭



### 林 靖子さん

2011年大学院地理学専攻修士課程修了  
獨協埼玉中学高等学校教諭



### 山口 隆志さん

2009年大学院地理学専攻修士課程修了  
株式会社ウェザーニューズ



### 柳場 さつきさん

2014年大学院地理学専攻修士課程修了  
株式会社東京地図研究社  
GISを使用した地図データの作成業務を担当



### 神代 隆文さん

1996年大学院地理学専攻修士課程修了  
福岡市役所住宅都市局総務部企画課長



### 稲田 康明さん（社会人特別入試）

2013年大学院地理学専攻修士課程修了  
静岡県長泉町役場2011年定年退職  
現 ながいずみ観光交流協会会長



院生会による三島市日帰り巡検（2011年9月10日 柿田川湧水）



院生会による川口市巡検（2014年2月16日 川口市）